

食前感謝詞 (しよくぜんかんしゃことば)

せいざ せいざ いっぱいいちはくしゆ
静座 一拝一拍手

もも きぐき

たなつもの百の木草もあまてらす

ひ おおかみ

日の大神のめぐみえてこそ

ただ

頂きます

食後感謝詞 (しよくごかんしゃことば)

たんざ たんざ いっぱいいちはくしゆ
端座 一拝一拍手

あさ もの う とようけ

朝よひに物くふごとに豊受の

かみ おもえよ ひと

神のめぐみを思へ世の人

ごちそう

御馳走さま



奥田神社

『新宮月次祭』

さらみや

【毎月十六日 午前六時三十分】

参拝者の方は祭典前に御神水を汲み、ご神前にお供えし、お被いを受けられた後、ご自宅でご神徳をいただいでください。

また、祭典後、御神水仕込みのお粥を参拝者でいただきます。

御祭神名 く水神く【水波賣神（みずはのめのかみ）】

「熊野大権現」「ひるうがみ」とも称されております

御利益 「心体健全」「無病息災」「病氣平癒」

当社は、古来より常に清水が湧き出て小池となしておりました。往年祭事として境内に桶を数箇設置し、遠近各地より信仰者が競って斎戒沐浴し御神徳にあやかると一面、敬神崇祖の至誠を捧げる事を誇りとし、水瓶を奉納し参詣する人々が絶えず、盛儀を極める行事があったと伝えられています。

大正時代には「井戸水が萬病に効ありとて近郷近在より日夜數多の患者詰掛け居れ」、「評判益々拡がり我れも我もと押しかくる者日々數百名に達し大雑沓を極めた」と当時の新聞にも記されています。

また當社の社名は「さらみや」（新宮）とも称されたことに由来しております。この由縁は、「身も心も真新しくなる」との意味です。浴びても、飲んでもその御神徳をいただける奥田神社の『熊野大権現の御神水』は、汲んで神前にお供えし、拝礼の後にこれを受け、自宅で用いる崇敬者は現在も絶えません。